

氏名	梅崎 薫	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	ソーシャルワーク、保健福祉、家族支援、修復的対話・実践(修復的正義・司法)				
学位	博士(医学) 修士(社会福祉学)				
学歴	1994年東京都立大学院社会科学研究所社会福祉学、99年富山医科薬科大学院医学系研究科環境系専攻博士課程				
経歴	2005年埼玉県立大学助教授(07年准教授)、13年埼玉県立大学教授				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本公衆衛生学会、日本家族社会学会、老年社会科学会、認知症ケア学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	「医療と福祉」100号をむかえ、日本における医療ソーシャルワークの実践研究をふり返る その1	共著	医療と福祉100号	「医療と福祉」100号記念号編集チーム	2016年10月
2	「医療と福祉」100号をむかえ、日本における医療ソーシャルワークの実践研究をふり返る その2	共著	医療と福祉101号	「医療と福祉」100号記念号編集チーム	2017年3月
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	実践報告:地域における女性のためのRJ対話の会	共著	第12回RJ全国交流会(東京:早稲田大学)	○梅崎薫、石井千景、南光智子	平成28年6月
2	修復的正義(Restorative Justice)アプローチによるRJ対話が高齢者にもたらす効果 家族間の高齢者虐待を予防する取り組みからの副次効果に関する一考察	単著	第58回老年社会科学会(愛媛:松山大学)	○梅崎薫	平成28年6月
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	科学研究費基盤研究(C)対話で創る公私連携の地域づくり-家族間の高齢者虐待を予防するために-	研究代表者			平成28年-30年
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	ソーシャルワーク論Ⅲ	2016.4~2016.8	SW実習Ⅰ修了後に、実習Ⅱにむけて、理論と演習・実習を統合できるよう各担当教員と連携して授業計画を組み立てた。		
2	高齢保健福祉論	2016.10~2017.3	成年後見制度、解決志向アプローチ、高齢者虐待の未然防止として修復的実践(RJ)トーキングサークルを演習を組み込み講義した。		
3	医療経営論	2016.4~2017.8	経営の基礎理論の講義と、マネジメント、財務会計、マーケティング、経営理念に関して、ゲストスピーカーの講話を設定した。		
(2) 演習					
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2016.4~2017.8	SW実習Ⅰにむけて、児童家庭、高齢、保健福祉、司法福祉などを視野に、理論と演習を統合できるよう授業計画を立て実施した。		

2	社会福祉専門演習Ⅱ	2016.10～2017.3	高齢者と家族に関する基礎的な文献抄読、学生の個別関心に添い先行研究からの報告・考察にて卒業研究の関心を明確化した。	
3	社会福祉専門演習Ⅲ	2016.4～2017.8	卒業研究を視野に個々の研究関心に添い先行研究を探索。既存統計からの分析結果を報告。質疑応答により考察し焦点化した。	
4	社会福祉専門演習Ⅳ	2016.10～2017.3	卒業研究として論文化内容を相互に報告・議論して、理解を深め、さらに必要な文献や知見を追加した。	
<b>(3) 実習</b>				
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2016.10～2017.3	施設実習において、対象者理解、信頼関係の形成、実習後の考察に必要な情報を理解できるように指導した。	
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2017.2～2017.3	巡回指導では指導者との関係形成等を確認し、帰校指導では異なる施設間での共通性、ジェネラリストソーシャルワークの理解を促した。	
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2016.10～2017.3	実習Ⅰで体験した内容を大学で学んだ理論で説明するよう促し、説明し、学生が理論と実践を統合化できるように指導した。	
4	IPW実習	2016.10～2017.3	看護学科、作業療法学科、健康開発学科口腔衛生専攻、健康行動専攻、社会福祉学科、5名の学生を担当した。	
<b>(4) 論文指導</b>				
1	学士論文指導	2016.4～2016.11	主指導:4名	
2	修士論文指導	2016.4～2017.3	主指導:1名	
<b>(5) その他</b>				
1	修復的対話による実践	2016.4～2017.3	高齢者デイサービス 女性のための対話の会 越谷対話の会他	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	東京都民生委員・児童委員研修	東京都社会福祉協議会	民生委員に必要な面接技術	2016年5月6月
2	修復的対話 体験会	埼玉県立大学	公開講座 修復的対話を体験的に学ぶ	2016年7月
3	修復的対話 体験会	松伏町社会福祉協議会	傾聴ボランティアを対象、修復的対話を体験的に学ぶ	2016年7月
4	あれは虐待ではなかったか	東部精神保健福祉士会	高齢者虐待の理解と修復的対話の体験学習	2016年8月
5	修復的対話(RJ)研修キーパー養成講座	RJ対話の会	修復的対話のキーパーを担うための研修	2016年8月
6	児童福祉司任用資格認定講習会	埼玉県	社会福祉援助技術論「家族支援のソーシャルワーク」	2016年9月
7	災害ソーシャルワーク研修	日本社会福祉士養成校協会	災害支援におけるチームビルディング・チーム連携	2016年10月
8	高齢者虐待を予防するための研修	野田市	近年の高齢者虐待動向と予防のための対話	2017年1月
9				
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市成年後見センター運営委員		2016.4～2017.3
2	越谷市	越谷市障害者地域自立支援協議会委員		2016.4～2017.3
3	埼玉県	埼玉県大規模小売店舗立地審議会委員		2016.4～2017.3
4	三郷市	三郷市介護認定審査会委員		2016.4～2017.3
5	八潮市	八潮市防災会議委員		2016.4～2017.3
6	公益社団法人 日本医療社会福祉協会	理事		2016.4～2017.3
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	大学院教務委員会			
2	社会福祉学専攻 専攻長			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			

7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		